

しが旅のススメ



鏡の里元服式などを紹介する竜王町観光協会のホームページはこちらから



国道8号沿いにある竜王町の鏡地区には鏡神社や鏡池(元服池)、白木屋跡など、鎌倉幕府を開いた源頼朝の異母弟である源義経の元服にちなんだゆかりの地が点在します。義経は幼名を牛若丸と言ひ、源氏の総領源義朝の九男として出生。母は、義朝の愛妾で九条院の雑仕、常盤御前です。

■ 鏡の里元服式 (竜王町)

節目祝い 人生リ・スタート



捕らわれました。母親と子の命乞いのために常盤は清盛の妾となり、牛若丸は京の鞍馬寺に預けられました。母や鞍馬の阿闍梨が牛若丸に僧になることを勧めますが、自分が源氏の嫡流と知り剣術の修行に励みま

した。 承安4(1174)年3月3日の暁、牛若丸は金売り商人の吉次と下総の陵助頼重に同伴して奥州の藤原秀衡の元へ出発し、藤原氏と関係を持ちたいと望んだ

よつです。その夜、鏡の宿に入り沢弥伝の屋敷「白木屋」に投宿。鏡の宿に入っ

て間もなく、早飛脚より鞍馬から平家の侍たちが稚児姿の牛若丸を探しているとの情報を得、このままではすぐに捕らわれるため、急いで髪を切り烏帽子を着けた東男に身をよつさねばと元服を決心しました。

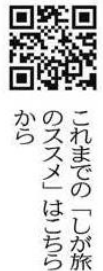
今年の鏡の里元服式の参加者一いずれも竜王町鏡で



元服式の舞台となる鏡神社

白木屋近くの烏帽子屋五郎太夫に源氏の左折れ烏帽子を注文。牛若丸は、鏡池の石清水を用いて前髪を落としました。烏帽子親もいないことから、太刀と脇差しを烏帽子親に見立て自ら元服式を執り行いました。その時、牛若丸は16歳、烏

造) 竜王町観光協会・堀江豊



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【アクセス情報】鏡神社へはJR野洲駅から路線バスで道の駅竜王かがみの里下車。所要時間20分。車は国道8号沿いの道の駅竜王かがみの里向かい。